修学旅行新聞
発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8―7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

修学旅行の補助金要求 文部省

中学生一万四千四百円 要保護

50年度 へき地は特殊性考慮して

文部省では来年度、要保護・準要保護ならびに高度へき地学校児童生徒の修学旅行と校外活動の補助金概算要求を決定した

【要保護・準要保護】

要保護・準要保護児童生徒に対する修学旅行費は中学生一人に一万四千四百円、小学生は五千二百円を要求している。対象人員は中学生（二年）九万六千九百六人、小学生（六年）十万四千七百十人で、この金額は九億八千二百九十六万九千円。

本年度にくらべ中学生は四千三百円、小学生一千八百円増え人員では中学生が一千九十四人減、逆に小学生は一千八百十三人増加している。合計額では本年度より三億四百四万千円増加となった。（補助率二分の一）

校外活動費（遠足など）は中学生が五百円、小学生三百二十円で、本年度より中学生が二百五十円、小学生が百八十円それぞれ増額。対象人員は中学生二十一万四千五百四十七人、小学生四十八万三千二百十九人で、補助額の合計は本年度より七千百三十九万二千円増えて一億三千九百六十八万一千円。補助率二分の一。

なお校外活動費はきわめて低額で、要求額が実際の約半分以下であることを当局も認めており、向う三カ年のうちに現実と合致するよう努力する（財務局田中事務官）といっている。

【高度へき地】

実施三年目に入ったへき地学校児童生徒に対する修学旅行費は本年と同じく三十五級で、中学生は一万五千八百四十円、小学生五千七百二十円とした。この額は本年度にくらべて中学生は五千七百四十円、小学生二千三百二十円それぞれ増額している。

対象人員は中学生一万二千百人、小学生二万六百六十四人で補助額の合計額では本年度より五十二百二十九万一千円増の一億六千八百四十四万二千円となった。

要保護・準要保護家庭児童生徒にくらべてへき地学校への補助額が多いのは、へき地の特殊性から交通・宿泊などを考慮にいれているため。補助率は前年と同じく三分の二。

全修協の実態調査から（1）

全修協では各都道府県から標準とみられる小中学二校ずつを無作為で抽出、四十七、八、九年度の修学旅行で実際に学校へ納めた費用を調査した。運賃改訂以前の国鉄を除くとバス、宿泊が大幅に値上りしていることがわかった。

以下、回答のあったものから中学校について具体例をあげてみよう。

【北海道】

札幌市内のA校。函館一泊、十和田地区二泊の三泊四日のコースだが、その費用は四十七年度八千二百七十円、四十八年度九千三百七十円、ことしは一万六百四十円とほねあがった。昨年にくらべるとバスは五千円、宿泊料四千円、見学料三千円とそれぞれアップしている。

【山形県】

山形市内のB校。関東方面へ三泊四日のスケジュールだが、費用は四十八年が一万三百九十五円、本年は一万二千二百八十六円で一千八百九十一円の値上りとなった。宿泊料は昨年より一泊につき四百四十円もあがっている。また見学料は四百十一円、食事代も四百五十円値上りとなった。

【栃木県】

宇都宮市内のC校。二泊三日の関西旅行だが、その費用は昨年度が一万三千五百四十二円だったのに本年は二万五千五百五十五円でその差一千十三円。とくにバス料金が昨年より八百六十円も上昇している。

【茨城県】

水戸市内のD校。関西方面へ二泊三日。昨年度は一万三千三百八十円だったのに本年度は一万五千四十円で一千六百六十円の値上りとなった。二泊の宿泊費は昨年より四百五十円上って三千七百八十円。

【山梨県】

韮崎市内のE校。三泊四日で関西方面へ。宿泊費は昨年より一千円上って五千四百円。学校納めの総額は一万七千六十円で昨年にくらべ一千七十円の値上。（つづく）

おわび　今月号は都合で発行がたいへんおくれました。ご諒承ください。（広報部）

風紋

「旅」を終えたあと鮮明にのこった印象をもとに、旅行地に関する本を読んだり、考えてみたりするのは、とても楽しいことだ。旅の余韻ともいうものだろうか▼先頃、長野県上田市郊外の塩田平を一日歩き回った。観光のキャッチフレーズに「信州の鎌倉」とあった。首をかしげて出かけたが、それがピタリであるのでおどろいた▼まず国宝の安楽寺八角三重塔だ。日本でただ一つの八角の塔で純唐様、鎌倉末期の作、それに続いて重文の前山寺の三重の塔、未完成の完成の塔といわれる美しさ、また、あまりに美しいため「見返りの塔」といわれる国宝大法寺の三重の塔などの古塔群▼それに中禅寺薬師堂、これは鎌倉初期のもの、信州最古の建物、藤原時代作といわれる薬師如来とともに重文、まさに古文化財の宝庫である▼小鳥の声がにぎやかな野の道をゆけば、そこに中世の日本の姿が柔和な表情で、濃いみどりに包まれ静かな谷あいに息づいていた。高松塚の古代の姿は、土のなかに眠っていたが、ここは地上で自然と人々にまもられて七百年を生きつづけてきた▼いったい、どうしてこの山里に、これほど鎌倉時代がのこっていたのであろうか。この地は東国における何であったかと歴史的興味をそそられた▼旅行後、資料や本で分ったことだが、ここに北条氏一門の重臣、重時が守護所をおき、以後、義政国時俊時と三代五十七年居城を構え、いわゆる鎌倉街道によって、幕府へ直結していたところという。鎌倉から放射状に走った鎌倉道によって、東国はいざ鎌倉に備えた。この軍道はまた文化東漸のルートにもなった。北条氏と親しかった奈良の仏師たちの高度な技術は、この東国の重要地へ流入してきたものだろうか▼上田市郊外一日の遊歩はしばしば中世の東国の姿をかいまみせてくれた。旅はわれわれにたくさんの勉強のヒントを提供してくれる。

値上げ攻勢続く

修学旅行 父兄負担も重く

〝狂乱物価〟のあおりをうけて修学旅行費も値上りをつづけ、来年度はさらに父兄の負担は重くなりそう。

北條虎雄氏 栃木県支部長

全修協運動に功績残す

故北条虎雄氏

全修協栃木県支部長・北条虎雄氏は八月十四日、宇都宮市鶴田町一九〇四―三五の自宅で胃疾患のため死去した。六十四歳。告別式は八月二十八日十時から県連合教育会葬（白田博亘葬儀委員長）として県教育会館で執り行われた。

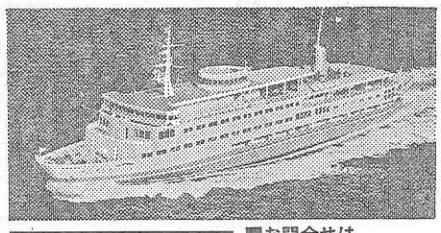
栃木県師範学校本科一部卒、県内各小学校教諭、校長を歴任、昭和十七年に県視学委員、同二十四年県教委塩谷出張所教育課長のほか、県小学校長会長、全国小学校長会常任理事、県連合教育会長をつとめた。四十五年八月、野沢寅氏のあとをうけて全修協支部長に就任、修学旅行の改善や研修旅行の普及に大きな功績を残した。

全修協山本　頭髪は、黒々とし理事長の話　て十歳以上も若く見えた北条氏が突然なくなられたとは、とても信じられなかった。酒も煙草もたしなまぬ謹厳実直なかたであっただけに惜しい人をなくしたと思う。支部長就任いらい〝修学旅行はもっと教育的効用を認識しなくてはならない〟と力説、海洋へはぜひとく船による修学旅行を提唱されていたことが印象深い。全修協として貴重な存在を失った。いまここに哀悼の意を表しその逝去を惜しみつつ、ご冥福を祈るばかりだ。

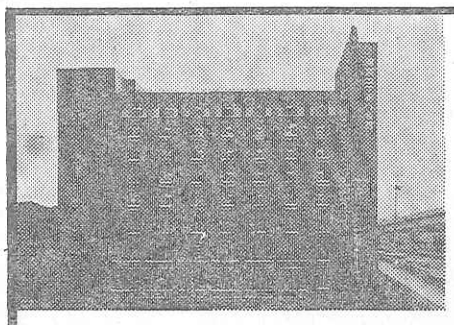
充実した修学旅行

ツーリストをお役立てください
ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として“修学旅行映画”シリーズを製作しております。
●修学旅行映画シリーズ
京都の庭園　富士箱根　日光　大和の国なか
大和の塔　火とみどりの国　瀬戸内海
みちのく　大和の道　大和の石　京都の川
（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）
電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」
近畿日本ツーリスト

KANSAI LINE
思い出の修学旅行
印象的な、瀬戸内海の船旅

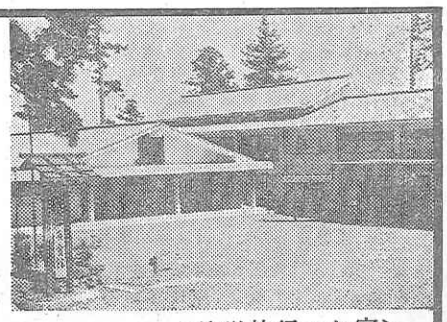


●阪神―別府航路（毎日4便）
●阪神―小豆島・高松航路（毎日4便）ほか
●神戸―日向（宮崎）フェリー（隔日1便）
関西汽船
■お問合せは
大阪市北区宗是町1（06）441―4100/東京都中央区八重洲1-9-9（03）281―2621
ほか関西汽船・関汽交通社各地営業所・各旅行あっ旋案内所へ



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。
ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL（03）585―1046（代表）
東京 コマ旅行会館

霊峰比叡でお泊りを
■素晴らしい琵琶湖の夜景
■根本中堂で早朝の座禅
■スッキリした気分で次のコースへ
■夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕
☆本館☆第1別館☆第2別館☆別館比叡



<修学旅行のお宿>
別館 比叡 8月1日オープン
比叡山
延暦寺会館
ENRYAKUJI KAIKAN
0775―78―0047・0554

研修旅行の作品

洞爺湖でボートも

家族で楽しんだ研修旅行 ①

中西道子

主人と子ども（小学六年生）と私。三人で初めて研修旅行に参加しました。

七十数名の人々といっしょでした。子どもは大変によろこび、Tて、先生はじめA先生、または小学二年生のB君、小学四年生のYさんと仲よしになってしまいました。また、添乗員のおにいさんとも仲よしでした。

ひとりっ子で家ではなかなかにいばって、わがままな子どもですが、外に出ると社交性もあり、みんなにかわいがってもらい、またみんなに甘えていました。旅行中の七日間の団体生活のなかで子どもは大変に楽しそうでした。

子どもはまず旅先きのスタンプに興味をもちました。青函連絡船のなかではじめてスタンプを押し次にトラピスチヌ修道院のスタンプをおして、あとは行く先き先きでスタンプをおしていくのが楽しみでした。一番堂々としているスタンプは、千歳空港のスタンプです。かわいらしい熊のスタンプは旭川駅で押した買物公園です。

そのスタンプ帳をA先生にみせました。

「わあ！いいなあ。こんどぼくも押そう。どこへ行くとき押そうかな。外国に行くときでもおそうかなあ」

「外国にスタンプってあるの」

「いやあ、まいった、まいった」などA先生と子どもの会話が北海道の山に海にひろがっていきます。

○……○

三日目の洞爺の旅館には、思ったより早く着きました。夕方六時頃から洞爺湖にボートを浮かべて三人がのりました。

おとうちゃんの腕は口ほどに、ボートのかいが動かずボートがゆれて少しこわかった。まるい月が空に出ていました。三重県からも見える月だろうな。一時間くらい湖にボートを浮かべていました。

そのあとで昭和新山の花火大会を見にゆきました。ちょうどきょう八月三日は昭和新山の夏祭りです。お山に花火が仕掛けてあって山すそから花火の花がはっていきます。

また、打ちあげ花火の美しいこと。いくつもいくつもあがります。上ばかり見ているので、首が痛くなります。とうもろこしを食べながら約三十分間夜空をいろどる火花と昭和新山の男らしい山肌の美しさにみとれていました。

そのあと花火が終わり帰ろうとすると、バスの混雑で大変でした。「行きはよいよい帰りはこわい」のたとえどおり、汗と暑さと人ごみです。北海道の夏も三重県の夏もかわらないぐらい暑いのだなあと思ったことでした。

（つづく）

（本年度研修旅行「北海道コース」参加者・伊勢市二俣四―二―三〇）

研修旅行「北海道秘境コース」阿寒湖でアイヌの衣裳を着て記念撮影する参加者。（全修協・嶋津総務部長うつす）

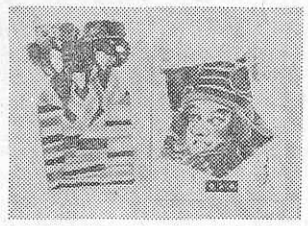
郷土の玩具

素朴な姿の紙づくり

■浜松・紙凧　■松江・人形

☆…正月用の遊びとして紙凧は全国に流布している。いまと違ってリクリエーションのとぼしかった時代、コマや羽子板とともに隆盛をきわめた。形や絵柄はいろいろ。五月の節句に静岡・三方が原で行なわれる凧合戦は今でも大きな行事。各町内からきまった模様の大凧を持ち寄り、十数人で掛声も勇ましく綱を引いて大空高く掲げる。初節句を迎える家ではその子の立身出世を祈って家紋のついた凧を作る。子ども用の凧も多い。（写真右）

☆…松江の姉さま人形（写真左）は松江藩の御殿女中が手すさびに作ったものが発祥だが、江戸から伝わったともいわれる。赤と緑だけの単純さが、かえってきらびやかさを増す。廃藩後は落ちぶれた武士の内職として作られた。小泉八雲もこれを激賞し、大英博物館へ送ったという。いまでは作る者もなく、わずかに老婆ひとりが細々とうけついでいる。



北海道の旅

藤原美代子

☆

行く道は他にもあらむここにきて堪ふる乙女の祈りきびしも（修道院）

☆

啄木の悲しき生活（たつき）伝えきく青柳町をいまバスは行く

☆

星座を下界に見たる心地して函館の町揺れ光りをり

☆

もくもくと真昼日のなか煙はく立ちよりがたし昭和新山

☆

流れ出づ歌声（こえ）うるはしく洞爺湖に風ふるほへば

旅でころわく（遊覧船で三浦洗一のレコード）

☆

ポタポタと汗をたらして月寒にジンギスカンの鍋をかこみぬ

☆

そそり立つ巨岩・奇岩をわきいづる二すじの滝の水やせて見ゆ（層雲峡・銀河の滝）

☆

大雪（たいせつ）の深き沈黙（しじま）のいづこより宿のあしたにうぐひすのこえ（大雪のホテル）

（本年度研修旅行・北海道一周コース参加者・大阪市生野区田島五―五―八）

殉教の地に立って

目をおおう原爆資料 ㊤

山田永子

私は研修旅行が好きです。一番暗くて心待ちにしていたのは雲仙・阿蘇だったという気がしなかった。

七月三十日、午後五時発のひかり四七号に乗り、京都まできたら停電、一時間以上も待たされ、岡山であかつき五号にのることができた。うとうとしていたら「いま関門トンネルをくぐっています」というアナウンスがきこえたが、福岡駅はない。県立公園の美しい樹木が目にしみる。八時四十分早岐着、佐世保に着いたのだ。バスは急流で有名な針尾の瀬戸という大村湾にかかった西海湾に連れていってくれた。初めて見た九州の海、紺べきで実に美しい。

博多に着く。博多駅はあっても樹木が目にしみる。八時四十分早

三十一日、長崎市内見学。ワンマンカーの電車がのんびり走っている。片足の鳥居が当時のいたましさを物語るように建っていた。殉教、また原爆の地としての長崎は落着いていて、港も静かで物わびしい。永く平和の地であることの願いからたてられたブロンズの男神平和祈念像が爆心地に手をあげている姿、また、大浦の天主堂のステンドグラスをじっとみていると、当時のすごさが目に見えるようだ。

原爆資料室のあまりにもひどい人々の写真、サイダーびんの下が幾つもとけ合って一つになっている現物など、みているともし自分だったらと目をおおいたい気持ちだった。

八橋検校の琴の名人（六段）がでたところだという。また、聖人多助の伝説の地である諫早は通っただけで大村湾を左側にみて、島原半島、雲仙温泉に十六時につく。半島の中央にそそり立った雲仙の山麓地には、かつてキリストの信者が多く、家光のために大勢の人が刑罰されている。七時二十分、あたりはまだ明るい。

だけど何か無気味だった。十字架の地獄のそばに年寄った人がいた。まぼろしだったかも知れない。煙があたりをしきりにかくしていく。この場所で硫黄責めと拷問の饗踊りがあったと思うと、現代の世相を考えて割り切れないものがあった。何かわからないが、あとで旅館のふろの場は温泉かしらと、みんなが言っていたことが気になった。私もそう感じた。せっかくの温泉もうらみで温泉に思えなかったのかも知れない。

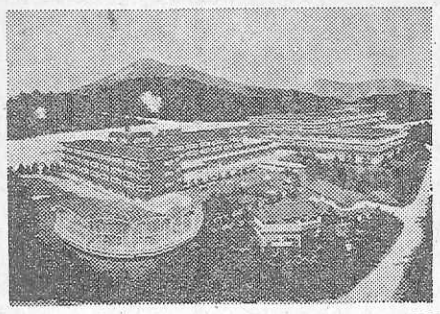
八月一日、八時雲仙発　島原までの一時間は樹木が実に美しかった。松倉氏が築いた城、島原城は見られなかった。港からフェリーにのる。雲仙岳の頂上に雲がかかっていて、遠ざかるようすは絵はがきをみているようだった。名勝だけあって海に浮ぶ島々は、さすが松島だと思った。

宇戸半島はあまりに知られていないが道もよく、左右芝生でかこんだような山々や樹木が、みどり黄みどりに輝き、紺べきの空とタイアップして走馬灯のように美しい。熊本市まではすいぶん時間がかかった。

細川忠利から三代にわたって築かれた熊本城内に入ると、当時のことがしのばれて、歴史をひもといてみたくなった。

＝つづく＝

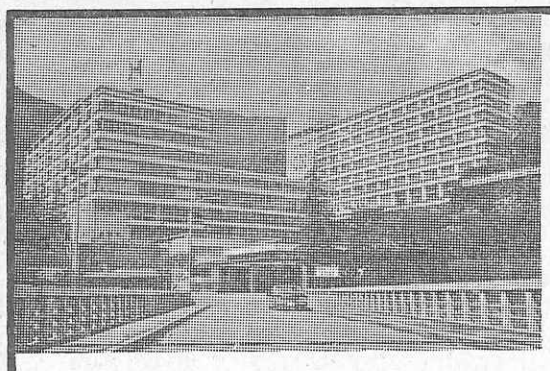
（本年度研修旅行「九州一周コース」参加者・埼玉県志木市立宗岡二小）



みどりに映える
北欧調の美観

台湾アミ族南海園舞踏団15名
特別舞踊ショー出演中

政府登録・国際観光旅館
雲仙国立公園
長崎県南高来郡小浜町雲仙
ホテル東洋舘
電話　095773－3243(代)



旅先きでの
楽しいお食事を
水いらずの
お部屋でどうぞ

ホテル白雲山荘
別府市観海寺
TEL (0977)23－1151

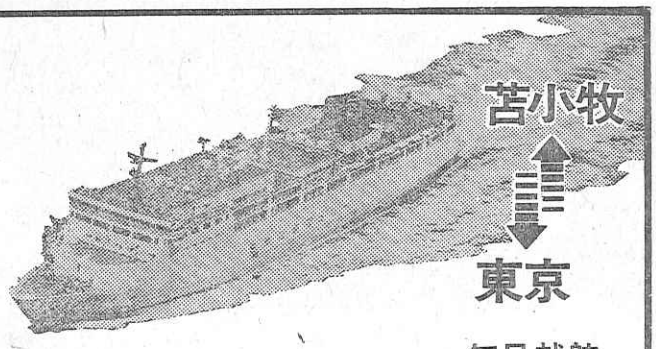
案内所
■東京　TEL (03) 582－1778
■大阪　TEL (06) 351－6887
■福岡　TEL (092)761－0927

全国各地
小中高校
全90種
旅のしおり

■御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで，小学校から高校まで，あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえします。ご照会ください。

修学旅行図書・資料出版
株式会社
教材研究所
〒601 京都市南区西九条鳥居口町5
(京都駅新幹線口の南西)
電話・代表075-681-1591,2,3,4
振替・京都2539

若い時の思い出に
30時間の楽しい旅



毎日就航
日本海フェリー
本社／東京都港区新橋1・10・7(大和銀行新橋ビル)☎(03)573・1911
札幌支店／札幌市中央区南大通り西10・4(高橋ビル)☎(011)261・6321